



# 会報

No.54

2022年1月1日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

## ESGコンプライアンス

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

連日のようにSDGsやESGに関する記事が、新聞や雑誌をにぎわしています。SDGsは、国連が2015年の国連・アルシュサミットで採択した、2030年までに達成すべき17の目標を指します。

ESG (Environment, Social, Governance) が広まったのは、SDGsより早く、国連が責任投資原則 (PRI) を発表した2006年からです。

ESGは、SDGsの目標を「投資」面で達成する手段と考えられます。PRIは、投資の意思決定にESGの要素を組み込むことなどを求め、PRIに基づく「ESG投資」を行う年金基金や資産運用会社は、世界中で増加の一途を辿ってきました。

ESGは、投資だけでなく金融機関などの融資行動を変え、さらに、投融資を受ける側の企業行動も大きく変えました。気候変動や人権問題への対応を広く開示して、投融資適格を備えることをアピールするようになったのです。

具体的には、投資家向けのIRに力を入れ、統合報告書を通じて、環境問題、社会的課題などの非財務情報の開示を充実させました。

このようにして、企業社会全体に“ESGコンプライアンス”の行動準則が広がりを見せています。とくに企業に環境問題対応を求める例が、欧米中心に増えています。

日本でも、あるメガバンク・グループの2020年

の株主総会で環境団体が株主提案を出し、30%を超える支持を得て注目を集めました。

なかでも、気候変動リスクの情報開示については、国際基準としての法的ルールづくりが行われてきました。2021年11月3日、IFRS財団が、2022年6月をめどに、COP26で世界共通の基準づくりを担う新組織の設立を発表しました。

環境関連のESG基準は、従来、民間団体が独自に作ってきましたが、新基準ができれば広く利用されるものと期待できます。

日本でもこの情報開示を有価証券報告書中で法的に義務づける方向で検討を進めており、金融機関にとっては、とくにコンプライアンス基準としての意味が拡大します。

ESGのS (社会) 要素は、サプライチェーンにおける「人権尊重」などを広く対象に含みます。そのため、原料や部品の調達先が海外現地工場での強制労働の有無をしっかりと調査するといった、「人権デューデリジェンス」が、グローバル・ルールとして定着しつつあります。

金融界では、自社の存在意義を前面に出す「パーパス経営」が求められています。これを実現するには、“ESGコンプライアンス”を強化し、足もとを固めることから始めるべきです。

## コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月24日（日）に実施した第54回コンプライアンス・オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

### ●金融コンプライアンス・オフィサー 1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数434名中受験者は354名で、認定者は139名でした。認定率は39.27%、平均点は54.29点で、認定率は前回は上回りました。

問題では、〔問題-2〕苦情・トラブルへの対応、〔問題-3〕提携ローンにおける貸手責任、〔問題-4〕預金払戻時の注意義務、が低調な結果でした。共通して感じることは、問題の趣旨や解答すべき内容を的確に把握せずに、あいまいな答案内容になっているものが多かったことです。

求められている解答の構成内容を十分に把握せずに答案の記述を進めても、相応の得点しか得ることはできず、高得点を獲得することは難しいことに留意してください。

### ●金融コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数3,233名中受験者は3,011名で、認定者は2,352名でした。認定率は78.11%、平均点は70.59点で、ともに前回は上回りました。

正解率が30%を下回った問題は、今回ありませんでした。その中で、比較的、正解率が低かった問題は、〔問-8〕苦情・トラブルへの対応、〔問-48〕電子記録債権、〔問-50〕労働契約法、でした。

上記の問題は、頻出のテーマですが、応用力を問う内容が出題された場合においても確実に正解を導くことができるように、日頃から深度のある学習を行い、知識を十分に習得することが求められます。

### ●保険コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,204名中受験者は1,116名で、認定者は585名でした。認定率は52.42%、平均点は59.25点で、ともに前回は下回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-9〕景品表示法、〔問-18〕募集における禁止行為、〔問-20〕保険募集の再委託、〔問-22〕顧客の意向把握・確認義務、〔問-32〕受取人の死亡、〔問-46〕不祥事件への対応、〔問-47〕金融ADR、の7問でした。今回、特に低い結果となった「保険の募集・締結・保全におけるコンプライアンス」の分野は、例年頻出のテーマも多くあります。過去の出題傾向をつかみ、得点増加につなげましょう。

### ●金融AMLオフィサー [実践]

成績結果は、〔表-4〕のとおりです。

応募者数2,700名中受験者は2,570名で、認定者は1,552名でした。また認定率は60.39%、平均点は70.96点となりました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-10〕マネロン・テロ資金供与対策の関連法令、〔問-15〕本人特定事項、〔問-22〕確認済の顧客への対応、〔問-34〕犯罪収益移転防止法と外為法、の4問でした。

FATF第4次対日相互審査の結果を踏まえ、政府を挙げて迅速にAML対応を改善していく姿勢が強く示されています。規制動向等を注視し、新たな要請に遅滞なく対応していきましょう。

### ●金融AMLオフィサー [基本]

成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数1,608名中受験者は1,546名で、認定者は1,162名でした。また認定率は75.16%、平均点は75.38点となりました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問－5〕 F A T F の勧告、〔問－19〕 取引時確認（実質的支配者の本人特定事項の確認）、〔問－21〕 非対面取引における本人特定事項の確認、〔問－42〕 疑わしい取引の届出、の4問でした。

本試験は、主として営業店の一般行職員・パート行職員を対象としています。ML／FTリスクに最初に直面し、これを防止する役割を担っている方々ですので、リスクを正しく理解したうえで、日々の業務運営を行っていきましょう。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー1級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	6	112	27	28	67	11	29	21	0	0	22	111	434
応募比率(%)	1.38	25.81	6.22	6.45	15.44	2.53	6.68	4.84	0.00	0.00	5.07	25.58	100.00
受験者数(名)	4	97	21	24	57	10	26	18	0	0	20	77	354
受験率(%)	66.67	86.61	77.78	85.71	85.07	90.91	89.66	85.71	0.00	0.00	90.91	69.37	81.57
認定者数(名)	2	36	13	10	22	4	7	8	0	0	6	31	139
認定率(%)	50.00	37.11	61.90	41.67	38.60	40.00	26.92	44.44	0.00	0.00	30.00	40.26	39.27
平均点(点)	53.75	54.79	60.95	51.42	54.35	50.70	49.23	56.17	0.00	0.00	51.80	55.09	54.29
年齢(歳)	45.8	37.7	42.9	45.0	41.5	44.1	45.0	39.6	0.0	0.0	48.5	44.3	42.1
勤続年数(年)	22.8	14.1	18.9	20.0	17.3	19.8	19.7	15.4	0.0	0.0	26.4	18.5	17.6

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー2級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	45	495	76	173	715	310	914	83	3	6	11	402	3,233
応募比率(%)	1.39	15.31	2.35	5.35	22.12	9.59	28.27	2.57	0.09	0.19	0.34	12.43	100.00
受験者数(名)	41	475	72	151	674	284	860	78	2	6	11	357	3,011
受験率(%)	91.11	95.96	94.74	87.28	94.27	91.61	94.09	93.98	66.67	100.00	100.00	88.81	93.13
認定者数(名)	40	415	67	116	539	178	612	65	2	5	10	303	2,352
認定率(%)	97.56	87.37	93.06	76.82	79.97	62.68	71.16	83.33	100.00	83.33	90.91	84.87	78.11
平均点(点)	77.76	73.91	77.78	70.16	70.58	64.87	67.62	73.56	93.00	73.67	78.55	74.68	70.59
年齢(歳)	31.2	30.6	26.8	29.1	30.1	28.9	38.2	30.6	51.0	36.8	38.5	36.1	33.1
勤続年数(年)	6.3	7.6	2.9	6.3	7.7	5.4	14.6	6.5	30.0	12.7	15.7	10.7	9.3

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー2級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	0	212	0	3	64	15	257	0	277	0	28	348	1,204
応募比率(%)	0.00	17.61	0.00	0.25	5.32	1.25	21.35	0.00	23.01	0.00	2.33	28.90	100.00
受験者数(名)	0	203	0	3	63	14	231	0	258	0	27	317	1,116
受験率(%)	0.00	95.75	0.00	100.00	98.44	93.33	89.88	0.00	93.14	0.00	96.43	91.09	92.69
認定者数(名)	0	116	0	1	26	9	59	0	161	0	17	196	585
認定率(%)	0.00	57.14	0.00	33.33	41.27	64.29	25.54	0.00	62.40	0.00	62.96	61.83	52.42
平均点(点)	0.00	60.45	0.00	60.67	58.63	59.57	53.21	0.00	61.74	0.00	60.07	60.88	59.25
年齢(歳)	0.0	34.1	0.0	38.3	37.4	38.5	38.1	0.0	37.3	0.0	40.4	44.3	39.0
勤続年数(年)	0.0	12.2	0.0	11.0	15.0	15.9	14.8	0.0	10.4	0.0	16.6	17.4	14.1

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－４〕 金融AMLオフィサー〔実践〕 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	4	469	2	78	484	190	1,334	74	0	0	2	63	2,700
応募比率(%)	0.15	17.37	0.07	2.89	17.93	7.04	49.41	2.74	0.00	0.00	0.07	2.33	100.00
受験者数(名)	4	445	2	70	464	178	1,276	71	0	0	2	58	2,570
受験率(%)	100.00	94.88	100.00	89.74	95.87	93.68	95.65	95.95	0.00	0.00	100.00	92.06	95.19
認定者数(名)	4	316	2	43	306	88	704	51	0	0	1	37	1,552
認定率(%)	100.00	71.01	100.00	61.43	65.95	49.44	55.17	71.83	0.00	0.00	50.00	63.79	60.39
平均点(点)	77.50	72.79	79.00	71.49	72.64	68.21	69.82	73.49	0.00	0.00	69.00	72.72	70.96
年齢(歳)	43.3	34.5	37.0	37.7	39.4	34.5	41.0	35.5	0.0	0.0	42.0	42.5	38.9
勤続年数(年)	19.8	11.8	16.0	17.1	16.6	12.2	18.1	12.4	0.0	0.0	13.0	17.3	15.9

※ 認定基準は70点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－５〕 金融AMLオフィサー〔基本〕 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	7	243	2	40	223	116	841	95	0	0	3	38	1,608
応募比率(%)	0.44	15.11	0.12	2.49	13.87	7.21	52.30	5.91	0.00	0.00	0.19	2.36	100.00
受験者数(名)	6	235	1	38	214	110	813	91	0	0	3	35	1,546
受験率(%)	85.71	96.71	50.00	95.00	95.96	94.83	96.67	95.79	0.00	0.00	100.00	92.11	96.14
認定者数(名)	6	197	1	27	151	62	613	75	0	0	2	28	1,162
認定率(%)	100.00	83.83	100.00	71.05	70.56	56.36	75.40	82.42	0.00	0.00	66.67	80.00	75.16
平均点(点)	79.67	77.46	84.00	72.84	73.71	71.16	75.67	76.29	0.00	0.00	80.00	77.14	75.38
年齢(歳)	28.0	33.7	53.0	32.8	32.7	32.4	35.9	39.5	0.0	0.0	47.7	39.9	35.1
勤続年数(年)	5.2	10.3	30.0	10.9	11.3	11.0	13.3	11.8	0.0	0.0	28.0	12.7	12.2

※ 認定基準は70点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

### 〔2022年3月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第55回 2022年 3月6日(日)	2022年 1月6日(木) ～1月19日(水) 必着	J Aコンプライアンス3級	三択択一マークシート式	10:00～11:30 (90分)	3,300円(税込)

### 〔2022年6月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第56回 2022年 6月5日(日)	2022年 4月4日(月) ～4月20日(水) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	記述式	13:30～16:30 (180分)	8,250円(税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択択一マークシート式	10:00～12:00 (120分)	5,500円(税込)
		金融個人情報保護 オフィサー2級			

**試験公告**

**CBT方式による  
コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内**

日本コンプライアンス・オフィサー協会

弊会では、CBT方式によるコンプライアンス・オフィサー認定試験の実施につき、以下のとおり決定しましたので、ご案内いたします。

※CBTコンプライアンス・オフィサー認定試験は、株式会社CBTソリューションズの試験システムおよびテストセンターにて実施いたします。

- 実施日程：2022年5月1日（日）～2023年3月31日（金）
- 試験種目：「金融AMLオフィサー〔取引時確認〕」
- 試験時間：90分
- 受験料：4,950円（税込）
- 出題形式：三択択一式 50問
- 認定基準：100点満点中70点以上
- 出題範囲：1. マネー・ローンダリングの基礎知識／2. 営業店における実務対応  
（出題範囲・内容に一部変更が生じることがあります）
- 申込日程：2022年4月28日（木）より申込開始予定  
※株式会社CBTソリューションズのホームページからお申し込みください。

**試験公告**

**コンプライアンス・オフィサー認定試験 試験時間変更のご案内  
（2022年6月試験より）**

日本コンプライアンス・オフィサー協会

弊会では、「コンプライアンス・オフィサー認定試験 2級種目」の試験時間変更につき、以下のとおり決定しましたので、ご案内いたします。

〈2022年6月試験より変更〉

変更する2級試験種目	変更前	変更後
金融コンプライアンス・オフィサー2級、保険コンプライアンス・オフィサー2級、金融個人情報保護オフィサー2級	150分	120分

※「金融個人情報保護オフィサー2級」については、出題形式の変更も行います（次頁上段の「試験公告」参照）。

## 試験公告

### 「金融個人情報保護オフィサー 2 級」 出題形式・科目構成および試験時間変更のご案内

日本コンプライアンス・オフィサー協会

2022年6月5日（日）実施分より、「金融個人情報保護オフィサー 2 級」は、下記のとおり出題形式・科目構成および試験時間を変更いたします。

	変更前	変更後
出題形式	・三択択一式 35問（各2点） ・記述式 3題（各10点）	・四択択一式 50問（各2点）
科目構成	・基本知識 三択択一式 ・技能・応用 事例付記述式	※従来の「基本知識」「技能・応用」は、 全般的知識として構成されます。
試験時間	150分	120分

※CBT方式による試験は、2022年5月1日より実施します。くわしくは、株式会社CBTソリューションズのホームページをご覧ください。

## 試験公告

### 「コンプライアンス・オフィサー認定試験」受験料改定のお知らせ (2022年度試験より)

日本コンプライアンス・オフィサー協会

2022年度試験より、「コンプライアンス・オフィサー認定試験」受験料を改定させていただくことになりました。各試験種目の改定後の受験料につきましては、下記日本コンプライアンス・オフィサー協会のホームページに掲載の添付資料をご参照ください。

各金融機関様ならびに受験者の皆様方にはご負担をおかけすることとなりますが、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【日本コンプライアンス・オフィサー協会のホームページ】

<http://jcoa.khk.co.jp>